

■ 学校の共通目標

授業作り	重 点	一人ひとりが伝えたい思いや考えをもち、適切に表現する力を高めることができるように、課題を的確に捉え、主体的に考えることができる授業を工夫する。
環境作り		多様な交流の場を設定し、相互評価等、児童相互を通して良さを認め合い高め合う活動を工夫し、支持的風土を醸成する。

■ 学年の取組について年度末評価の結果を、左の欄にまとめました。

学 年	本年度の成果と課題 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年	<p><b>【国語】</b></p> <p>○物語文や説明文を読む際、繰り返し指導したことで、読む力が高まった。</p> <p>○繰り返しの文字練習(ひらがな・カタカナ・漢字)を通して、丁寧に書く力が定着してきている。</p> <p>●文章を書く際に、「は・を・へ」、促音、拗音を間違えたり、句読点やかぎかっこが書けなかったりする児童がいるので、継続的な指導が必要である。</p> <p><b>【算数】</b></p> <p>○加減計算の式の表し方や計算の仕方は、繰り返しの練習によって、理解が深まっている。</p> <p>●文章題では問題の読み取りが正確にできておらず、立式を間違える児童がまだ見られる。図を使って考えを整理させ、繰り返し取り組ませていく必要がある。</p>	<p><b>【国語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢や口形、発声、発音に注意して話すこと。</li> <li>・字形に気を付けて、文字を丁寧に書くこと。</li> <li>・単語や文節として文章の意味を捉えること。</li> <li>・自分の考えを文章にして、書いたり伝えたりすること。</li> </ul> <p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10の補数がすぐに分かるようになること。</li> <li>・加減計算の式の表し方や計算の仕方を考え、計算すること。</li> </ul>	<p><b>【国語】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①音読の姿勢図を活用した指導。</li> <li>②母音の口形、発音、発声の反復練習。</li> <li>③鉛筆の持ち方や姿勢の声かけと、平仮名の手本を活用した指導。</li> <li>④ひらがなの定着、音読する時間の確保</li> <li>⑤具体的な文章の書き方の指導や小グループで伝える活動や設定。</li> </ol> <p><b>【算数】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①具体物や半具体物を用いた操作活動機会の計画的な設定。</li> <li>②授業内に習熟の時間を設定。</li> <li>③家庭学習、朝学習による継続的な計算練習・ドリルの活用。</li> </ol>
2 学 年	<p><b>【国語】</b></p> <p>○繰り返しの文字練習(主に漢字)を通し、丁寧に書く力や読みやすく書くこととする意欲など、基本的な学力や学習態度が定着してきている。</p> <p>○年間を通した音読の活動や宿題を通して、文として文字を読む力が向上してきている。</p> <p>●文章から指示語を的確に読み取って事実と考えを抜き出したり、多くの文から必要な情報を読み取ったりする力に課題が見られた。叙述をもとに考えを書く活動を繰り返し、経験を積んでいく必要がある。</p> <p><b>【算数】</b></p> <p>○数の構成、基礎計算は繰り返しの練習によって、理解が深まっている。</p> <p>○計算の仕方や式の意味を図に表したり自分の考えとして発表したりすることを繰り返したことで、相手に考えを説明する力が向上してきている。</p> <p>●文章題では題意を正確に読み取ることができず、立式を間違える児童が少数ながらまだ見られる。文章を読み取る力を育てるとともに、問題の意味を理解でき</p>	<p><b>【国語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。</li> <li>・文章の内容を理解し、叙述をもとに自分の考えを書くこと。</li> <li>・自分の考えを相手に伝えたり、話の中心に気を付けながら、大事なことを落とさずに聞いたりすること。</li> </ul> <p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の方法を理解し、問題を解くこと。</li> <li>・文章問題の内容を読み取り、正確に立式すること。</li> <li>・計算や立式の方法を相手に説明すること。</li> </ul>	<p><b>【国語】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①確かめや復習、再テストなどによる継続的な学習時間の設定。</li> <li>②叙述から自分の考えを引き出すためのワークシートの使用。</li> <li>③メモの取り方の指導や、小グループでの話し合い活動の設定。</li> <li>④一人で音読する時間の確保。</li> </ol> <p><b>【算数】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①朝学習やタブレット端末、プリントなどを使用した反復学習。</li> <li>②解き方のパターンを提示し、文章問題に繰り返し取り組む指導の充実。</li> <li>③小グループでの話し合い活動の設定。</li> </ol>

	<p>るよう、必要な情報を得る練習を引き続き行う必要がある。</p>		
3 学 年	<p><b>【国語】</b></p> <p>○読むことの学習で、サイドラインを確実に引く等、言葉に着目し、理解したり想像したりしたことで読む力を伸ばすことができた。</p> <p>○小グループや学級全体など様々な集団での話し合いの仕方の指導を行ったことで、話したり聞いたりする力を伸ばすことができた。</p> <p>○教科総合、基礎、応用ともに区の平均を4～6ポイント上回った。</p> <p>●学力層の C・D 層が 43.1%と依然高水準である。基礎・基本の復習を丁寧に言い、継続的に学力の向上を図る必要がある。</p> <p><b>【算数】</b></p> <p>○計算練習や復習の時間を確保したことで、基礎的な計算能力を定着させることができた。</p> <p>○教科総合、基礎、応用ともに区の平均を8～10ポイント上回った。</p> <p>●学力層の C・D 層の学力向上が課題である。基礎・基本の復習を丁寧に行う必要がある。</p>	<p><b>【国語】</b></p> <p>・最後まで話の内容を正確に、具体的に聞き取ること。</p> <p>・考えた内容を、相手に伝える言葉にして表現し、伝えること。</p> <p>・文中の言葉から分かることを想像して読むこと。</p> <p>・文字の特徴を捉えて正しく丁寧に書くこと。</p> <p>・既習の漢字、拗音・促音、カタカナ、「」かぎかつこ、句読点の使用を身に付けること。</p> <p>・目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び表現すること。</p> <p>・品詞や接続詞、指示語、反対語、修飾語などの言葉がもつ役割を理解して活用すること。</p> <p>・既習の漢字を復習しつつ、新出漢字を日常から使用して覚えること。</p> <p><b>【算数】</b></p> <p>・基本的な計算問題を正確に解くこと。</p> <p>・繰り上がり、繰り下がりのある問題について正しく計算すること。</p> <p>・長さやかさの単位換算や量感を習得すること。</p> <p>・かけ算九九の定着、問題の意味を捉えて立式すること。</p> <p>・文章問題について、問われている内容を正確に捉え、問題を解くこと。</p>	<p><b>【国語】</b></p> <p>①話し方と聞き方の日常的な指導。</p> <p>②ペアや小グループなどでの話し合い活動の設定。</p> <p>③一人読みの時間の確保。</p> <p>④読みの視点やサイドラインの引き方の提示。</p> <p>⑤主語・述語に加えて、修飾語を意識させた具体的な文章の書き方の日常的な指導。</p> <p><b>【算数】</b></p> <p>①朝学習や家庭学習でのドリル学習。</p> <p>②デジタル教科書や模型等を活用した数量感覚の涵養。</p> <p>③数直線、式、言葉、図などを用いて考えを説明する機会の設定。</p>
4 学 年	<p><b>【国語】</b></p> <p>○新宿区学力定着度調査では、教科総合、基礎共に区の平均正答率を上回り、観点・領域別にみても全て区平均を上回った。</p> <p>○書くことの学習で、児童が自分に合った方法を選んだり、書きたくなるようなタイミングで作文を書かせたりすることで書く力を伸ばすことができた。</p> <p>●話すこと・聞くことのポイントが区の平均を上回っているがやや低い。自分の考えを根拠をもって話す力や、話の要点を捉えて聞き、メモにまとめる力を身に付けていく必要がある。</p>	<p><b>【国語】</b></p> <p>・メモしたりイメージしたりしながら聞き、正確に理解すること。</p> <p>・物語や説明文の構造をとらえ、文章の中から重要な情報を抜き出して、簡単な言葉でまとめること。</p> <p>・自分の思いや経験を、伝えたいことを明確にしながら順序良く話したり、書いたりして表現すること。</p> <p>・既習の漢字、文法、拗音・促音、カタカナ、「」かぎかつこ、句読点の使用を身に付けること。</p> <p>・友達の考えと自分の考えの相違点や共通点を意識しながら、話し合うこと。</p>	<p><b>【国語】</b></p> <p>①話を聞いたり、ペアで話し合ったりすることの日常的な習慣づけ。</p> <p>②文にサイドラインをひき、一人読みする時間を確保。</p> <p>③作文用紙やタブレット端末の活用など、自分に合った方法を児童が選択。</p> <p>④大きな行事など、話したくなり、書きたくなるような作文の機会を設定。</p> <p>⑤漢字や文法など、見直しの習慣がつくよう、その都度声掛け。</p> <p>⑥各単元で自分の考えを言語化し、ノートやワークシートに書く時間を確保。</p>

	<p><b>【算数】</b></p> <p>○新宿区学力調査では、教科総合、基礎、応用すべてで、区の平均正答率を上回り、観点・領域別にみても全て区平均を上回った。</p> <p>○計算を中心に復習の時間を年間通して確保したことで、基礎的な学力の向上を図ることができた。</p> <p>●学力層の C 層が 30.0%と依然として水準が高めである。数量関係や四則計算の基礎・基本の復習を丁寧に行い、継続的に学力の向上を図る必要がある。</p>	<p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ算九九の定着</li> <li>・大きな数での、繰り上がりや繰り下がりのある計算、かけ算やわり算など、基礎的な問題を正確に解けること。</li> <li>・分数や小数、平行・垂直や角度、面積や周囲の長さなどの概念と、それらを活用した計測や計算の仕方を習得すること。</li> <li>・式、図、文などを用いて自分の考えを説明すること。</li> <li>・文章問題について、問われている内容を正確に捉えて立式し、問題を解くこと。</li> <li>・友達との意見交流を通し、考えを広げたり深めたりする楽しさを知ること。</li> </ul>	<p><b>【算数】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①朝学習や家庭学習でのドリル練習。</li> <li>②数の大きさや位に注目できるよう、位取り表などのツールの活用。</li> <li>③形の感覚や、計算の意味などをイメージしやすいよう、身の回りにあるものや興味をもてる題材を用いる。</li> <li>④問題を解くだけではなく、考え方をノートなどに書いたり、友達と意見交流したりする時間の確保。</li> </ol>
<p><b>5 学年</b></p>	<p><b>【国語】</b></p> <p>○新宿区学力調査では、全ての領域で正答率が区の平均正答率を上回る結果だった。</p> <p>○多くの単元で話し合い活動の設定や言語活動の充実させたことで、前回の結果でやや低かった「書くこと」の正答率も今年度は区平均を 6.8 ポイント上回った。</p> <p>●区平均を上回ってはいったものの「書くこと」の正答率はやはり低めで、5 割を下回っている。</p> <p>●時間が足りない様子も見られたため、日常的に読んだり書いたりすることに慣れ、速度を上げる必要がある。</p> <p><b>【算数】</b></p> <p>○継続的な計算練習、デジタルドリルの活用により、基礎的な学力の向上を図り、全領域で区平均を上回る結果となった。</p> <p>○「変化と関係」「データの活用」の領域は正答率が 9 割を超えた。</p> <p>●「図形」の領域で正答率が他より下回っていたことから、コンパスや分度器などを正確に使用することについて引き続き課題を意図的に設定する必要がある。</p> <p>●思考・判断・表現の正答率が知識・技能よりも 25 ポイント以上低いことから、基礎的な学力を応用し、自分の考えを表現する力を伸ばしていく必要がある。</p>	<p><b>【国語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて文章の内容を正確に捉え、根拠を明確にして自分の考えをもち、表現の工夫を意識して表現すること。</li> <li>・主述や修飾被修飾の関係、一文の長さや文章構成などを意識し、<u>自分の考えを筋道立てて説明したり意味の通る文章にまとめたりすること。</u></li> <li>・自分の書いた文章を読み返し、推敲すること。</li> <li>・友達との意見交流を通して共通点や相違点に気付くことで自分の考えを深めること。</li> </ul> <p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題について、既習事項などを参考に自分の考えを筋道立てて説明すること。</li> <li>・繰り上がりや繰り下がりのある計算、わり算やかけ算の筆算、小数や分数の計算などの基礎的な問題を正確に解けること。</li> <li>・コンパスや分度器を用いて正確に作図ができること。</li> <li>・式、図、文などを用いて自分の考えを筋道立てて説明すること。</li> <li>・友達との意見交流を通し、考えを広げたり深めたりする楽しさを知ること。</li> </ul>	<p><b>【国語】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①一人読みの時間の確保。</li> <li>②単元途中や単元末に自身の学習状況を文章で表現する振り返りの設定。</li> <li>③タブレット端末を活用し、互いの文章を読み合ったり推敲したりする時間の設定。</li> <li>④意図的に編成したグループや時間設定での交流活動の設定。</li> <li>⑤読むことの単元でも作者や筆者の文章の工夫に着目し、自ら書く文章に生かす指導。</li> </ol> <p><b>【算数】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①多様な思考を促す授業場面の設定と十分な課題解決時間の確保。</li> <li>②既習事項のヒントカードやワークシートなどの提示の工夫。</li> <li>③プリントやドリル問題を活用した基礎基本を反復練習する機会の設定。</li> <li>④デジタルドリルを用いた反復学習。</li> <li>⑤作図の正確さを求める指導と評価。</li> <li>⑥ペアやグループ、全体での共有時間の設定。</li> </ol>

<p><b>6 学 年</b></p>	<p><b>【国語】</b> ○新宿区学力定着度調査では、教科総合でも基礎・応用別でも区の平均を2～6ポイント上回っている。学力層のC層、D層は、4年生の時と比べ国語は減っており、学力の定着が図られたといえる。</p> <p>○書くことの学習では、タブレットを使用して取り組んだことにより、筋道立てて説明したり、意味の通る文章にまとめたりするための推敲を効果的に行うことができた。</p> <p>●話すこと・聞くことが他領域に比べて低い。言葉を正確に捉えて思考することや言葉の意味を明確にすることなどが必要である。</p> <p><b>【算数】</b> ○新宿区学力定着度調査では、教科総合でも基礎・応用別でも区の平均を3～4ポイント上回っている。</p> <p>○図形領域では、区平均より6ポイント上回った。数と計算の領域でも、区平均より5ポイント上回った。</p> <p>●学習内容がより抽象化し難しくなったことで学力層のC層D層の割合が増えている。既習事項の定着と活用をさらに進めていく必要がある。</p> <p>●データの活用が他領域に比べて、区の平均を2ポイント下回っている。データの読み取りと分析に課題が残る。</p>	<p><b>【国語】</b> ・目的や意図を考えて、文章を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち表現すること。</p> <p>・<u>主述や修飾被修飾の関係、一文の長さや文章構成などを意識し、自分の考えを筋道立てて説明したり、意味の通る文章にまとめたりすること。</u></p> <p>・自分の書いた文章を読み返し、推敲すること。</p> <p>・友達との意見交流を通して共通点や相違点に気付くことで、自分の考えを深めること。</p> <p><b>【算数】</b> ・小数・分数の四則計算について、正確に、速く処理すること。</p> <p>・既習事項を確実に理解することと既習事項を活用して問題の解決を図る学び方に習熟すること</p> <p>・<u>式、図、文などを用いて自分の考えを筋道立てて説明すること。</u></p> <p>・友達との意見交流を通し、新たな考えを知ることの楽しさと意義を知ること。</p>	<p><b>【国語】</b> ①目的や意図に応じて叙述を捉える視点を示し、言葉から内容を捉え、考えをもつための指導。</p> <p>②伝えるべき相手への意識を明確にもち、自分の意見を、根拠を明確にして表現する指導。</p> <p>③難意語について、辞書等を活用して文脈から正しい意味を捉えられるようにする指導。</p> <p>④個人・ペア・全体と意見を考え交流する場の意図の設定。</p> <p>⑤デジタルドリル「主に言葉に関する内容」に取り組み時間の設定。</p> <p><b>【算数】</b> ①既知の情報で満足せず、探求したいと感じる課題提示の工夫。</p> <p>②意見を比較・分類・関連付ける板書の工夫。</p> <p>③プリントやデジタルドリル問題を活用した既習事項の基礎的な反復練習する機会の設定。</p> <p>④多様な論理的な思考を促す思考場面の設定と個の思考時間、グループや全体での共有時間の確実な設定。</p> <p>⑤意見交流の意義と重要性を、実感を伴った授業展開において伝える工夫。</p> <p>⑥式や図を使って、自分の考えを順序立てて論理的に記述する指導。</p>
<p><b>特 別 支 援</b></p>	<p><b>【国語】</b> ○読むことの学習では、サイドラインを引くこと、繰り返し音読指導をすることにより、言葉を根拠にして自分の考えをもち、想像したりして読む力を伸ばすことができた。</p> <p>●治療の状態に合わせてワークシートを工夫するなどし、自分の考えを文章にして表現する力を身に付ける必要がある。</p> <p><b>【算数】</b> ○具体物を用いる学習を繰り返したことで、文章問題をイメージする力を伸ばすことができた。</p> <p>●既習事項の基礎計算に取り組む時間を宿題も含めて計画的に確保し、基礎学力の向上を図る必要がある。</p>	<p><b>【国語】</b> ・内容を正確に読み取り、根拠を明確にして自分の考えをもち表現すること。</p> <p>・既習の漢字、新出漢字の読みを身に付けること。</p> <p>・自分の気持ちを文章にして、書いたり伝えたりすること。</p> <p><b>【算数】</b> ・基礎計算の方法を理解し、正確にできるようにすること。</p> <p>・問題文を正しく読み取り、実生活に結び付けて解けること。</p>	<p><b>【国語】</b> ①読む視点を明確にするためのサイドラインの指導。</p> <p>②音読指導の計画的設定。</p> <p>③自分の考えを表現する個の思考時間の確保。</p> <p>④気持ちを表現する語彙と文章の書き方の指導。</p> <p><b>【算数】</b> ①継続的な計算練習の時間の確保。</p> <p>②生活に使用する具体物の提示。</p>

